

向坂くじらさんと詩をつくろう

桶川で、 詩人になる日

響の森 桶川市民ホール 2024年10月13日(日) 10:00~12:00

桶川市在住の詩人で、第171回芥川賞候補作家の向坂くじらさんの手ほどきによって、桶川をフィールドに、テーマに基づいた詩をつくりまします。ふだん詩とは縁遠い生活を送っている方もこの日は詩人の目線で桶川を眺め、街へ踏みだす片足から詩人になってみましょう。

【場所】さいたま文学館 文学講座室 2 【参加料】無料

【対象】小学3年生以上 【定員】30名(先着順受付)

【申込み】下記よりお申し込みください

①申込み用フォーム(下記URL/右QRコード)

<https://business.form-mailer.jp/fms/d69ccb65251620>



②電話 048-789-1113 (桶川市民ホール)

③窓口 (市民ホール3階事務室)

向坂くじらプロフィール

桶川市在住の詩人。

市内の国語教室「ことば舎」代表。

1994年名古屋生まれ。慶應義塾大学卒。

初小説『いなくなってくならないで』が第171回芥川賞候補に。ポエトリーリーディング×エレキギターユニット「Anti-Trench」朗読担当、各所で詩のワークショップを実施するなど、幅広く活躍中。

著書

『いなくなってくならないで』(2024年河出書房新社)、『とても小さな理解のための』(2022年しろねこ社)、エッセイ集『夫婦間における愛の適温』(2023年百万年書房)

ことば舎 WEB サイト kotopa.com



【主催】桶川市民ホール(指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

www.okegawa-hall.jp

